

高等部 数学科 「声に出して数えてみよう」

- 食べ物に興味関心がある。
- 数の概念の理解度は様々である。
(数唱が困難～100まで数唱できる)

- お話に興味を持ってほしい。
- 数えて「違い」を実感してほしい。

①読み聞かせ『十二支のかぞえうた』(佼成出版社)

- 小さな絵本のためアプリケーション(PowerPoint)に写真データを貼り付けてiPadとテレビ画面とを連動させて提示した。
- 内容は、1月のページはネズミと餅が1つ、2月はウシとチョコが2つと干支の生き物と季節に合った食べ物が月に合わせて変わっていく。

おすすめポイント

- 『かごめかごめ』のメロディーで歌いながら楽しく読むことができる!
- 数を数える学習だけでなく、生き物や食べ物の名称について学習することにもおすすめ!



子どもの反応

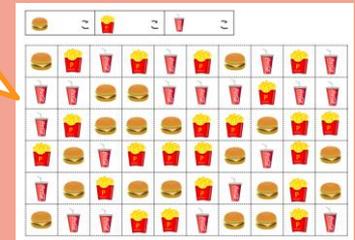
- 繰り返しの展開で「どの動物が出てくるのか」「どんな食べ物が出てくるのか」を楽しみにしている様子であった。
- 食べ物に興味を示し、数えながら口に運ぶ様子が見られた。

②やってみよう「数えて比べてみよう」

- 数を数えて「おおい」「すくない」を比べる課題に取り組んだ。
- それぞれの方法(○を記述、指差し、イラスト紙を分ける)で数える活動に取り組んだ。
- 数唱をしたり、具体物を並べたりして“一番多い”ものはどれかを確認して共有できるようにした。

おすすめポイント

- 生徒の実態に合わせてプリントを2種類用意した。
- 数えることが難しい生徒には、イラストの枠線で手で切り分けられるようにミシン目加工を施したプリントを用意した。



子どもの反応

- どの生徒も食べ物などイラストに興味津々の様子であった。
- 説明がなくても自分から数えようとする生徒もいた。
- 「1番大きい数 = 1番多い」と理解度に差があった。